

**高等部** Senior High School**言葉の力**

杉田 輝星 高等部3年

3年間の高等部生活は一瞬でした。コロナで多くのことが制限されましたが、限られた環境の中でも学校に通えたことに感謝したいです。

私がコロナ禍を乗り越えられたのは、「明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」(マタイ6:34)という聖書の言葉が心の支えになったからだと思います。

私は水泳部で部長を務めていました。部長としての1年間は大変なことばかりで、特にコロナによって部活動が禁止・制限されていた時は、自分を含め部員のモチベーションを保つために非常に苦悩しました。しかし、この聖句を知ってからは、活動ができるかどうかや大会の有無といったことを考えるのではなく、今どうすべきかを考える必要があると気づくことができ、最後は全てやりきって引退することができました。

高校2年と3年で礼拝委員だったということもあり、聖書の言葉に触れることが多く、とても励まされました。大学生になっても、新たなことに挑戦していく上で、様々な困難に直面すると思います。そんな時に、高等部の礼拝で聞いた聖句やお話を思い出して、自分の人生をより豊かにしていきたいです。

**み言葉を握って進む**

井川 比奈子 高等部教諭

高等部での学校生活を通して、皆さんは多くのみ言葉に触れてきました。「あなたは高価で貴い」「自分のように隣人を愛しなさい」「耐えられない試練はない」「いつも喜んでいなさい」…。たくさんのみ言葉の中で、あなたの心に残っているものは何でしょうか。その言葉は、永遠に変わることはない、力ある生きた言葉であり(1ペテロ1:24,25、ヘブライ人への手紙4:12)、あなたを愛する神からの贈りものです。

これからの道には困難も、コロナのように予想外で思い通りにいかないこともあるでしょう。そのような時、心に蓄えられたみ言葉は、きっと力と勇気を与えてくれます。卒業しても皆さんがみ言葉を握り、新しい道を力強く進んでいくことを心から願っています。



高等部卒業礼拝